

全役員

7/25 (日) ~8/8 (日)	健康チェック	Googleフォームより報告
8/1 (日) ~8/7 (土)	PCR検査	Googleフォームより報告

コート役員

1 責任者

- ・そのコートの試合が時程通りに進むよう、無駄を省き、円滑にまとめる。
*必要があれば、自分のコート役員の担当業務を変更して頂いて構いません
- ・要項を確認し、選手に違反がないかを確認する。
- ・前日と当日の選手変更・棄権・補欠利用を確認する。
- ・近隣のコートと連携を取り、選手のコート移動を速やかに行わせる。
- ・進行状況に合わせて常に本部・進行委員と連絡を取る。 **(進行責任者：板山)**
- ・コート役員の動きを常に把握して、チームづくりを目指してください！
- ・終了時間は、16時30分頃を予定しています。撤収作業も含め長時間ですが宜しくお願い致します。

★**競技間で時間に余裕のあるコートが出て来ると思いますが、選手は競技開始時間に合わせて準備を進めているため、基本的に時程通りに進行を行います。(余裕があっても早めない)**

★**午前予選開始時(11:20~)・午後予選開始時(13:30~)は、全てのコートで一斉スタートをします(担当：板山)**

本部の進行役員の指示に従ってください。

★**全競技を予選・3決・決勝まで1度に行います**

<競技について>

- ・団体法形競技及び展開競技の予選は、審判の点数表示を行わない。どちらも決勝のみ点数表示をする。
- ・展開及び団法は、上位4チームが決勝進出。団法・展開ともに決勝から表示する。
- ・展開・団法は、上位4チームが決勝進出。
→**展開は出場5チームのため1発決勝とする予定。**
- ・**個人実戦の試合時間は、男女とも予選三決決勝と全て1分です。**
- ・**団体実戦も、予選決勝問わず1分です。**
- ・展開競技のタイム測定は審判が行う。大型の表示カウンターを審判が操作し、予備で計時係がストップウォッチで計測します。記録係は表示カウンター値を記録します。
*競技の際、事前に計器の使用方法を確認・伝達してください。
- ・団体実戦の競技監督は道着禁止です。正装での参加を徹底させてください。また選手は手前(主審側)から背番号順1・2・3・4・5(等間隔)で並ばせてください。
- ・**赤白の帯は、ほどけやすいため、しっかりと締めるように指導してください。**

★**予選から決勝まで同じコートで行うため、選手のコート移動はありません。**

<決勝戦について>

- ・今大会は予選・決勝を分けない。来賓・審判・役員・選手・指導者2名以外は1階主道場へ入れません。
- ・応援は観客席のみ。

<補欠制度>

全ての団体種目に関して、大会途中の怪我によるドクターストップで棄権者がでた場合、申し込み時にエントリーされている補欠者各1名を出すことができる制度。

★補欠適用条件

- ・競技中の怪我によりドクターストップが下され、申し込み時よりエントリーされた補欠者がいる場合のみ、次の試合より変更可能。
- ・変更の際は、各コート責任者に必ず報告し、本部で承認されてからの変更となる。
 - *本部にて団体競技に出場する選手の一覧で補欠選手の名前を確認します。
- ・一度補欠を適用した後は、元の選手が回復したとしても戻すことはできません。
- * ドクターストップが下された場合はいかなる理由でもその後の試合には参加できません。

<棄権・ドクターストップ・補欠制度等について>

全競技種目における、棄権・ドクターストップ・補欠制度等については、日本躰道協会審判局から2014年9月5日付で発行された同内容の通知書に従うものとします。但し、同通知書と本大会実施要項の記載内容に差異がある場合は、本要項の内容を優先するものとします。

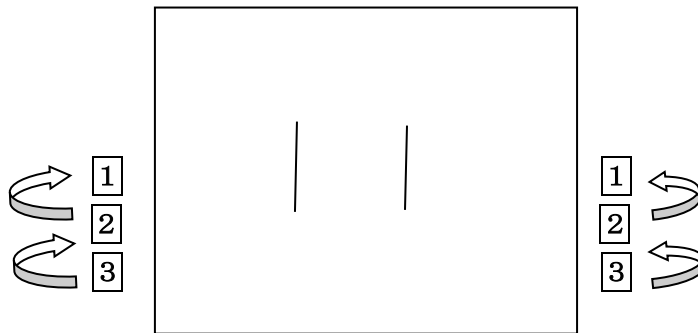
2 選手係（今大会は 1 名で行う）

- ・当日棄権選手が出ていないかどうかの確認→口頭で板山から土井白倉へ
- ・各試合時の号令を行う。選手呼び出しは行わない
- ・選手の集合が悪い場合は、早めに、司会席より放送で流してもらう。
（選手待機場所（赤・白）を確認）

【個人法形】



【個人実戦】



競技開始：

「只今より男子法形競技を行います。正面に礼。審判団に対し礼。お互いに礼。」←行う（選手発声なし）

回戦・指定法形案内：

「只今より 1 回戦を行います。指定法形は“変”です。」

「2 回戦に入ります。指定法形は“変”です」

「3 回戦に入ります。ここからは“法形は体（男子）・陰（女子）から自由選択”です」

選手呼び出し：選手棄権の場合、その試合は飛ばして行う。ただし、コートでアナウンスし次の試合の案内を行う。（「次の試合の赤/白 ○○県/地区、△△選手 棄権のため、次の試合に移ります。」）

※決勝・三決

試合進行のアナウンスを行う。

「ただ今より三位決定戦を行います」「ただ今より決勝戦を行います」のみ（選手呼び出し行わない）

褒章授与：「褒章授与を行います。優勝○○県○○選手、第二位○○県○○選手、第三位○○県○○選手」

通常とは異なるスタイルのため、メダルを持っている審判員のところまで選手を導いてあげてください（主審が金メダル）

競技終了：

「選手起立。以上を持ちまして男子法形競技を終了いたします。正面に礼。審判団に対し礼。お互いに礼」

- ・競技中、勝ち残った選手に、次の試合の赤白を伝える。

赤帯は各団体で用意し、個人持ちとしている。白への移動の際にも赤帯は持参したまま

- ・背中ゼッケン「〇〇県 躰道太郎」で確認し、次戦¹ 次々戦²・次々々戦³に選手を誘導

・赤帯は、ほどけやすいため、しっかりと締めるように指導してください。

- ・次の試合の選手をコートに集め、点呼を取り、棄権選手を確認する。

トーナメントの上の選手が赤、下の選手が白。

*法形競技の際、指定法形の内容を選手に再度連絡してください。

*団体実戦競技の終了号令は、主審の勝者判定に続き、間を開けずに号令を発声してください。

主審「○ 対 □で赤の勝ち。」

↓（この間、間をあけず、すぐに号令をかける）

選手係「以上をもちまして、男子団体実戦競技 〇〇県 対 △△県の試合を終了致します。正面に対し
礼。審判団に対し例。お互いに礼。」

*マスク着用での試合のため、熱中症にも十分注意が必要です。

選手の様子や声掛により、連戦以外にも適宜インターバルを取るようお願いします。

3 記録

- ・競技の内容を、記録用紙に沿って記録する。

所定の記録用紙や記録用トーナメントに勝敗等を記入してください。（記録用紙の勝者には赤丸を付けてください。）朝イチ、競技開始前に全記録用紙があることを確認し、団体名や選手名を記載できるものは早めに記載してください。

内容) 法形⇒判定内容（3-0、2-1）・勝敗をトーナメントに記載

実戦⇒勝敗をトーナメントに記載

団法⇒得点・合計点・順位

展開⇒得点・時間・合計点・順位

- ・試合の記録にミスがないかを確認し、記録を確実に本部に伝える。

→本大会はリモートで行う、トーナメント結果の写真を撮ってLINEグループへ送信

- ・実戦競技：

役員の机におかれた判定ボールを審判の判定に合わせて、ミスのないように掲示。

判定ボードが導入されていますので始まる前によく理解しておいてください。

- ・展開・団法競技：

審判が使う採点用紙を準備する。バインダーにはさんで、ペンも必ず付けること。

その際、選手係から競技チームの順番に変更がないかを確認し、変更があった場合は採点用紙の順番を並べ替えること。

予選は、審判より全体への点数表示はなし。決勝から表示。

男女展開・男女団法は、上位4チームが決勝進出。

予選の採点表は集計する必要はありません。競技終了後、各審判の採点表を回収し、そのまま本部記録席へ持ってきてください。また、その際、予選の得点表に場外減点（団法、展開）、時間（展開）を全チーム分記入したのもも提出してください。

★各競技が終わったら、そのコートで得点を集計し、すみやかに**本部記録へ結果を伝える**。（伝令係に依頼）

→リモート、LINE

三密対策で、ホワイトボードへの結果掲示はなし。

現場での賞状筆耕はなし、後日郵送

4 計時

実戦競技：

- ・時間を測定。大きなタイムウォッチを使う。*事前に使い方を確認すること
メガホンを使って時間経過を大きな声で伝える。

実戦の試合時間は、以下の通り。

競技		回戦	予選	3位決定戦・決勝戦
一般	男子個人実戦		1分00秒	1分00秒
	男子団体実戦			1分00秒
	女子個人実戦	1分00秒	1分00秒	
	女子団体実戦		1分00秒	

- ・**審判から「タイム」がかからない限り時間は止めないこと。**
試合開始前及び審判から「タイム」がかかった時は右手を上げ、時計を止めているという意思表示をすること。
- ・時間表示 *審判が役員側を見て確認し、手を挙げて合図するまで、表示すること。
残り30秒：「30秒前です」 『30』と書かれた札を挙げる。**審判が手を挙げて気づくまでしつこく言い続けてください。**
終了時間：ベルや電子ホイッスルを鳴らして「時間です！」 『時間』と書かれた札をあげる
メガホンと試合終了時の電子ブザーの使用を徹底してください。(競技場内は、周辺の音で役員の声やブザーが聞き取りにくい)

展開競技：

- ・審判員が大型タイマーで時間を測定する。*事前に審判に伝えておきます。
トラブルがあった時の為に計時係はストップウォッチで時間を測定すること。
タイムによる減点があるので、審判と連携をとり減点を記録係に伝える。

展開競技減点表

時間	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	30.1	30.6	31.1	31.6	32.1
	∪	∪	∪	∪	∪	∪	∪	∪	∪	∪	∪
	22.9	23.4	23.9	24.4	24.9	30.0	30.5	31.0	31.5	32.0	32.5
減点	-2.5	-2.0	-1.5	-1.0	-0.5	0	-0.5	-1.0	-1.5	-2.0	-2.5

*22.4秒以内及び32.6秒以上の場合も0.5秒につき0.5点が減点されます。

試合の撮影：

- ・各コートの試合を定点カメラで撮影します。最初の試合から録画をし続ける形としてください。(試合ごとに録画のON/OFFを切り替える必要はありません)
ただし、**電源やアングルの確認等、定期的に適切に録画できている事を確認してください。**

5 器具・伝令

- ・器具：競技に必要な器具を揃え準備する。

個人法形競技：イス3席

個人実戦競技：ホワイトテープ ＊コートがはがれたら随時直す

団体系形競技：イス4席(1席はラインズマン用)・審判採点表3セット・画板3冊・ボールペン3本
決勝より) 得点板3本・点数箱3個、もしくはスケッチブック3冊・サインペン3本

団体展開競技：イス8席(2席はラインズマン用)・審判採点表6セット(主審・副審用)・バインダー6冊・
ボールペン6本

決勝より) 得点板6本(主審は赤ライン付き)・掲示用点数ボード6個もしくはスケッチブ
ック6冊・サインペン6本

団体実戦競技：イス2席(競技監督用)・背番号表示板2セット・ホワイトテープ

※審判用紅白旗、電子ホイッスルは実行委員が用意した上、全て個人持ちとする。当日役員席においてお
き、それをずっと使ってもらうので役員が競技ごとに準備しなくてよい。

- ・伝令：責任者、もしくは記録係・選手係の指示にしたがい、動く

例)

司会席に選手の呼び出しをお願いする

6 コートコロナ対策

- ・コート入場選手の手指のアルコール消毒を行う
- ・コート退場選手の手指のアルコール消毒を行う
- ・各競技終了時にコートの消毒を行う (①次亜塩素酸水(スプレーボトル) 散布 ②モップ掛け)

その他役員

<受付>

- * ローテーションで回してください。
お昼はお弁当が届き次第、ローテーションで済ませてください

基本業務

お客様へのご案内

- ・お客様へのパンフレットはありません。
トーナメント表は在庫が少ないので、お断りして下さい。（日本躰道協会のホームページからリアルタイムの試合結果を含むトーナメントが見る事ができますので、御案内してください。）
- ・選手以外は競技スペースには入れないので、ご家族・ご友人などの応援は2階観客席を勧めてください。
- ・靴袋が必要な方にはお渡しください。（1階競技場に入られる来賓の方用）
- ・午後の予選が始まりましたら、受付は閉めていただいて結構です。
備品は競技場隅にまとめておいてください。
受付終了後は司会もしくは各コート役員のサポートをお願いします。

★正面入り口は選手・来賓・審判のみ利用可とします。扉に分かるよう掲示します。

来賓について

- ・来賓・関係者には芳名帳に名前と役職(協会役職、監督等)を記入してもらいます(宗家・大会会長以外)
ご記入いただいたら、正面へご案内してください。
その際、胸花をお渡しし、お付けしてください。
*宗家・大会会長(工藤先生)のみ大きな胸花、それ以外は小さな花
お断りを受けた際は、従ってください。
- ・祝儀をいただいたら、丁重にお礼を申し上げます。ご祝儀くださった方には記念品をお渡しください。
また、のちほど金額を確認し、メモ帳にお名前と金額を記入し、実行委員会に預けてください。

お弁当について

- ・11時00分に配達されます(業者名:株式会社横丁)大会議室に運び、接待責任者(〇〇〇〇)に引き継いでください。弁当注文数〇〇※別紙参照

放送で取りに来てもらう:宮城3、山形2、東京城西17、栃木1、愛知13、東京城東1、富山3

審判:22(第1会議室)現場役員:55(第1会議室)先生役員13(第1会議室)

正面席:30(第2会議室)予備20

お弁当は、全てお茶付きです。(当日納品)

弁当箱は、回収して後程弁当業者へ引き渡します。(15:30までに回収)

<接待係>

- * ローテーションで回してください。
お昼はお弁当が届き次第、随時お済ませください

基本業務

- ・ 昼食時の弁当・お茶の準備と片付けをしてください。

お弁当について

- ・ 団体名・個数を確認し、渡してください。事前に振分けておくとスムーズです。
弁当箱は大会議室 1 に返却してもらいましょう。
- ・ 11時00分に配達されます（業者名：株式会社横丁）大会議室に運び、接待責任者（〇〇〇〇）の指示に従ってください。
弁当注文数〇〇
- ▼弁当内訳
放送で取りに来てもらう：宮城 3、山形 2、東京城西 1 7、栃木 1、愛知 1 3、東京城東 1、富山 3
審判：2 2（第 1 会議室）現場役員：5 5（第 1 会議室）先生役員 1 3（第 1 会議室）
正面席：3 0（第 2 会議室）予備 2 0
- お弁当は、全てお茶付きです。（当日納品）
弁当箱は、回収して後程弁当業者へ引き渡します。（15:30までに回収）
- ・ 宗家、会長も同じお弁当になります。（特別弁当の用意なし）
大会議室へ届き次第用意してください。
1 2 時 2 0 分頃、宗家と大会会長をお誘いして会議室 2 で食事していただいでください。

宗家について

【8月8日 往路】

18:28 甲府駅着

お迎え【板山】会場入り口にて

[宿泊]なし

[お食事] なし

会場 9:00 着予定、板山が正面入り口にてお迎えします。

- ・ 受付—宗家の胸花をお付けする（胸花の準備がある場合）。お荷物や靴はお預かりし、管理。
- ・ 正面席「宗家」席へご案内。随時お茶等お願いします。
- ・ 開会式でご挨拶をいただきます。開会式ご挨拶の際、イスをひいたりマイクを持ったりしてください。
- ・ そのまま観戦。
- ・ お昼は 1 2 : 2 0 予選終了ごろにお勧めしてください
- ・ お昼を食べる際の場所、会議室 2 へご案内してください。
その際、工藤会長にもご一緒にお昼を勧めてください。

*お弁当は、1 1 時 3 0 分までに用意します

- ・ 1 3 時ごろ、午後の予選に合わせて正面席へ。タイミングは10分程前にご案内してください。

- ・大会後半に、板山より本日の謝礼・お車代をお渡しする
- ・宗家がお帰りになる電車に合わせて17:15ごろまでには会場を出発、佐久駅までお送りします。
- ・お荷物と靴をご用意ください。
武道館正面入り口までお見送りします。（板山）

褒章授与について

閉会式なし。褒章の補助はありません。

<会場係>

* ローテーションで回してください。コートフロアや観客席など。

お昼は12時半ころから、随時お済ませください

- ・選手は10:00から入館可能、三密を避けるよう入り口付近に選手がたまらないよう誘導して下さい
- ・審判・役員入館8:00
- ・選手入館10:00 (状況と準備が整っていれば早めてもok) とともに、正面玄関で靴袋を配布してください。
- ・入館時対応：
 - 役員については、板山・木間・土井・白倉が担当する
 - 2人1組で担当 (来賓・審判・各県地区選手・指導者・観客)
 - ①Googleフォームより参加者名前の呼び出し (リストから探すとは異常に時間がかかるため)
 - ②手指のアルコール消毒と検温
 - 審判担当者以外は、入館し会場設営を開始する
- ・競技開始後、会場内の巡回をお願いします。1時間に一度くらいのペースで構いません。
基本的に、選手以外は1階競技スペースには入れないので、ご家族・ご友人などの応援は観客席を勧めてください。
- ・練習用サブコートとして1階に武道場がありますので、そちらも巡回をお願いします。
またゴミ箱が分別されているか確認して下さい。
- ・廊下などでの練習などがありましたら注意してください。
- ・大会終了時、忘れ物・ゴミの散乱がないかを確認し、ゴミの回収をお願いします。
ゴミ袋は館内清掃業者指定の袋を購入(1枚300円)正面入り口の脇に置いておけば回収してくれます。
→要確認
- ・不審者や不審物を発見した場合は会場担当の実行委員長板山にすみやかに連絡するようにして下さい。
- ・忘れ物や落とし物を発見した場合には本部実行委員会までお持ち下さい。
- ・大会役員以外の競技スペース内(1階)での撮影(写真・動画)は禁止ですので、見かけましたら注意して下さい。大会役員の撮影係、今回は用意していません。

・開会式前、審判諸注意10:50予定。→選手は観客席から参加

開会式11:00から。

- ・その他、大会関係者が会場や他団体に迷惑になるような行為を見かけた場合は注意してください。
- ・ビデオは各コートに1台設置されています。そのコートをしっかり撮影できているかを確認してください。(30分に1回)

褒章授与について

- ・褒章授与なし。

【撤去について】

役員全員、撤去作業をお願いいたします。

東京方面へ帰られる方々は大渋滞に巻き込まれることが予想されますので、早めに解放します。

それ以外の方で極力済むようにします。